

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
35002	X-21-B-3-350025	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
グローバルデモクラシー論	佐々木 寛			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

現代社会の様々な局面で、「地球的問題群」に対応するNGO（非政府組織）やNPO（非営利組織）の活動が目されるようになって久しい。本講義では、これら新たな市民活動のうねりを比較的長い歴史的な観点からとらえ直し、その現代的な意味について考える。さらに、これら越境的な市民社会の活動事例を、運動と制度との両面を包摂する「グローバル・デモクラシー」論の枠組みで理論的にとらえ返す。流動化する世界に呼応しつつ変容するこれら市民的实践の現実を丹念に見据え、同時にこれら実践にともなう構造的課題や問題点も明らかにしたい。テーマの性質上、受講者の自発的な参加態度が望まれる。

内容は、新鮮な題材を多く取り入れたため細目は限定しないが、以下の内容には触れる予定である。また、反グローバル化運動や環境NGOについての映像資料を多用する他、実際に様々なNGOやNPOで活躍する人を教室に招き、現場の視点から話をしてもらおう予定である。

各回毎の授業内容

第1回 【授】イントロダクション——デモクラシーとは何か 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第9回 【授】事例②——地域発の試み（「グローカリゼーション」の実践） 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）
第2回 【授】デモクラシーを支えるものについて——古代から現代まで 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第10回 【授】現代のアイデンティティ政治 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）
第3回 【授】大衆デモクラシーの諸問題 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第11回 【授】社会的企業、社会的ビジネス、企業の社会的責任について（市民エネルギーの試みなど） 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）
第4回 【授】地球的問題群とグローバル化時代のデモクラシー 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第12回 【授】NGO/NPO活動における実践上の課題 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）
第5回 【授】映像資料で観るグローバル・デモクラシー 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第13回 【授】招聘講師による実践例の紹介 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）
第6回 【授】映像資料ふりかえり——多層的アイデンティティと多層的デモクラシー 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第14回 【授】世界の下部構造（経済システム）の変革について考える 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）
第7回 【授】現代のコスモポリタニズム 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第15回 【授】まとめ——グローバル・デモクラシーの主体と「シティズンシップ」 【前・後】前回の講義ノートを見直ししておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと（2時間程度）。
第8回 【授】事例①——オタワ・プロセス（グローバルNGOの活躍） 【前・後】授業で紹介される文献や資料を読んでおく（予習復習各2時間程度）	第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							90
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

しばしば講義の最後に、コメントカード（質問やコメント、感想を書いてもらう）を作成してもらい、それらは講義の改善に役立てるだけでなく、受講者の参加姿勢を見る材料とする。基本的に最終筆記試験の成績により評価を決定するが、随時授業以外の各種地域イベントや企画への参加を促し、その経験が活かされるような出題も行う。また、定期試験で最優秀のものは、他の学生にも参考となるため、本人の了解を得て公表する。

教科書参考書

共通テキストは、D. ヘルド『デモクラシーと世界秩序』（NTT出版）、西川潤・佐藤幸男編『NGO / NPOと国際協力』（ミネルヴァ書房）、佐々木寛『市民政治の育てかた』（大槻書店）など。
 必読参考文献の一例として、高島通敏編『現代市民政治論』（世織書房）、M. ウォルツァー『グローバルな市民社会に向かって』（日本経済評論社）、目加田説子『地雷なき地球へ』（岩波書店）を挙げておく。

受講に当たっての留意事項

内容的にかなり高度なことも含むので、知的好奇心が旺盛な学生の参加を望む。また、すでに「平和学」や「国政治学」、あるいは「国際組織論」や「国際協力論」、「市民社会論」等を受講していると、相互に関連性があり、理解が深まる。

学習到達目標

受講生が、「地球市民」としての自覚、そして将来、社会的企業やボランティア、政治実践に関わるための基本的な知識を獲得する。また将来、社会で具体的に活動・活躍するための「社会関係構築能力」の涵養も目指す。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習